

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 胃静脈瘤に対する治療の有用性・安全性に関する検討

研究の目的

胃静脈瘤は、肝臓の病気などで起こる門脈圧亢進症患者で時に認められるものですが、出血した場合にはショック状態など全身状態の急速な悪化をきたす場合があります。治療としては内視鏡治療（EVL、EIS）や血管内治療（BRTO）が行われ、これまでも一定の有効性が報告されていますが、最近では、超音波内視鏡を用いた内視鏡・血管内治療を組み合わせた治療など新しい治療の有用性も報告されています。胃静脈瘤の治療について、その有用性や安全性について検討することで、適切な治療の方法、タイミング、治療前後の管理についての見識を得ることを目的としました。

研究実施 実施許可日～2031年3月31日

期間：

対象となる方： 2016年1月から2026年3月までの期間に、当院で胃静脈瘤に対して内視鏡治療もしくは血管内治療を行った方。

利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

当院のカルテに記載されている情報のうち、年齢、性別、身長、体重、静脈瘤の原因、併存疾患、内服薬、静脈瘤内視鏡所見記載基準、食道静脈瘤の併存の有無（有の場合はその静脈瘤内視鏡所見記載基準）、治療内容（内視鏡、血管内）、有効性、偶発症、追加治療の有無とその内容、転機、観察期間、再発の有無を標記研究課題実施のために利用します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先

附属病院消化器内科、血液内科、免疫内科 吉田健太
連絡先電話番号 0172-33-5111